

令和6年度 日の出町支援教育運営委員会等研修会

多様化する教育的ニーズに応じた学び場の構築 ～不登校支援の充実を目指して～

- ＜日 時＞ 令和6年7月30日（火）
午前9時から午前11時まで（受付8：45から）
- ＜講 師＞ 教育庁指導部指導企画課指導主事 岡野 幸一 先生
- ＜会 場＞ 日の出町役場3階第1・2会議室
- ＜対 象＞ ①下記委員会等の委員（悉皆）
・支援教育運営委員（学校長）
・支援教育コーディネーター担当者
・登校支援コーディネーター担当者
②受講を希望する教職員（任意）
- ＜その他＞ 「児童・生徒を支援するためのガイドブック（東京都教育委員会）」をご持参ください。

文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について」（平成28年通知）において、不登校児童・生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童・生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意する必要があることが示されました。また、国内の不登校児童・生徒の急増に伴い、令和5年3月には「COCOLOプラン」が文部科学省から示され、より一層の支援の充実が求められています。

町立学校の不登校の状況では、全国と同様、小学校、中学校ともに増加傾向で、不登校状態にある児童生徒一人一人の教育的にニーズに即した支援が課題となっております。

令和5年度からは、東京都教育委員会の「校内別室登校指導支援員配置実施校」として、町立学校の3校が指定を受けて、校内における教室以外の居場所づくり、学習支援等を実施してまいりました。本研修会では、「校内別室登校指導支援員配置実施校」として取り組んだ成果を報告会として全校に発信するとともに、教育庁指導部指導企画課不登校施策担当の岡野先生から、不登校支援の充実についてご指導いただきます。